

速く効く!幅広く効く!SU抵抗性に効く!!

水稲用**初期**除草剤



**ピラクロニル**®

**1キロ粒剤**

**フロアブル**

ピラクロニル 1.8%

ピラクロニル 3.6%

®は協友アグリ株の登録商標です。



ノビエ

オモダカ

アゼナ

ミスアオイ

ホタルイ





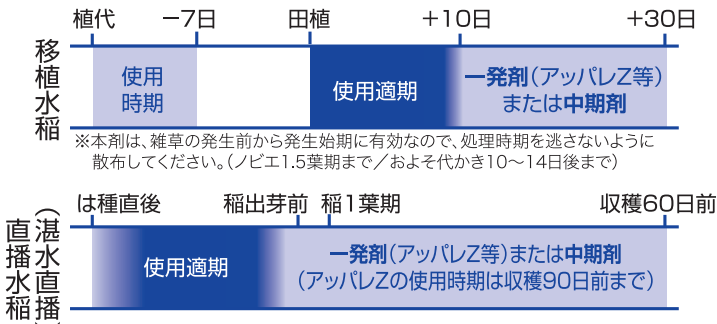
農林水産省登録第22087号  
 ■有効成分:ピラクロニル…1.8%  
 ■人畜毒性:普通物  
 (毒劇物に該当しないものを指していう通称)

### ピラクロン 1 キロ粒剤の適用雑草の範囲及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たりの使用量		本剤の使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
移植 水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、ヒルムシロ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ	移植時	500ml	-	1回	田植同時散布機で施用
		植代後～移植7日前又は移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし移植後30日まで				湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布
直播 水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヒルムシロ	は種時	1kg	-	1回	は種同時散布機で施用
		湛水直播のは種直後～稲出芽前 ただし収穫60日前まで				湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布
		湛水直播の稲出芽初期～ノビエ1.5葉期 ただし収穫60日前まで				湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数:2回以内

### 上手な使い方



※本剤は、雑草の発生前から発生始期に有効なので、処理時期を逃さないように散布してください。(ノビエ1.5葉期まで/おおよそ代かき10～14日後まで)

### 注意

- 直播水稻で使用する場合には下記ことに注意してください。
  - ①稲出芽前に使用する場合はできるだけ落水状態にして散布し、確実に出芽が確認できるまでは入水しないでください。
  - ②稲出芽時に湛水状態になると苗立ち数の低下を生じる場合がありますので注意してください。
  - ③稲出芽初期以降は湛水状態で散布してください。
  - ④表面は種(鉄コーティング等)では薬害を生じますので土中は種で使用してください。
  - ⑤稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがありますので使用をさけてください。
  - ⑥後処理剤との組み合わせで使用してください。



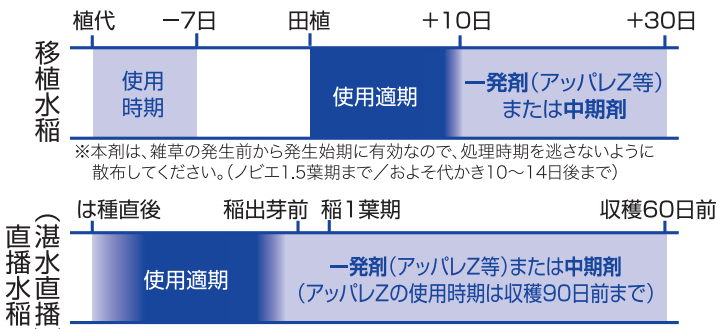
農林水産省登録第22088号  
 ■有効成分:ピラクロニル…3.6%  
 ■人畜毒性:普通物  
 (毒劇物に該当しないものを指していう通称)

### ピラクロンフロアブルの適用雑草の範囲及び使用方法(抜粋)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たりの使用量		本剤の使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
移植 水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、ヒルムシロ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ	移植時	500ml	-	1回	田植同時散布機で施用
		植代後～移植7日前又は移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし移植後30日まで				原液湛水散布又は水口施用
直播 水稻	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ヒルムシロ	湛水直播のは種直後～稲出芽前 ただし収穫60日前まで	100L	-	1回	落水散布
		湛水直播の稲出芽初期～ノビエ1.5葉期 ただし収穫60日前まで				湛水散布

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数:2回以内

### 上手な使い方



※本剤は、雑草の発生前から発生始期に有効なので、処理時期を逃さないように散布してください。(ノビエ1.5葉期まで/おおよそ代かき10～14日後まで)

### 注意

- 本剤が稲体に多量に付着すると薬害(褐変・葉枯れ)を生じるので、稲体に重複してかからないように注意してください。
- 薬剤散布用ノズルなどを使用して霧状に散布すると、薬剤が稲に多量に付着して薬害が発生するので、ノズル散布は避けてください。
- 稲体が大きくなるほど薬液が付着しやすくなるので、散布の際は、水深を深くし(最低5cm以上)早めに散布してください(移植後10日まで)。
- 直播水稻で使用する場合には下記ことに注意してください。
  - ①稲出芽前は落水状態で散布し確実に出芽が確認できるまでは入水しないでください。
  - ②稲出芽時に湛水状態になると苗立ち数の低下を生じる場合がありますので注意してください。
  - ③稲出芽初期以降は湛水状態で散布してください。
  - ④表面は種(鉄コーティング等)では薬害を生じますので、土中は種で使用してください。
  - ⑤稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがありますので使用をさけてください。
  - ⑥後処理剤との組み合わせで使用してください。

### 使用上の注意事項

#### ■共通の注意事項

- 使用量に合わせて秤量し、使いきってください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがありますので使用しないでください。
- 植代後から移植7日前までに使用する場合は、水田の代かき、均平はていねいにを行い、浮遊物のフラクズなどのごみは出来るだけ取り除いてください。散布後は少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(湛水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の畜舎にはかからないよう注意してください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に発散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

#### ■ピラクロンフロアブルの注意事項

- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効ですので、ノビエの1.5葉期までに時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが異なりますので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、オモダカでは発生始期まで、ヒルムシロでは発生期まで、クログワイ、コウキヤガラでは発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。(但し、オモダカは有効な前処理剤または後処理剤)

- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 移植後に使用する場合は、水の出入りを止め湛水状態で本剤が水田全面にゆきわたるよう散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

#### ■ピラクロン 1 キロ粒剤の注意事項

- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効ですので、ノビエの1.5葉期までに時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが異なりますので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワでは発生始期まで、ヒルムシロでは発生期まで、オモダカでは発生前から発生始期、クログワイ、コウキヤガラでは発生前が本剤の散布適期です。またオモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください(但し、オモダカは有効な前処理剤または後処理剤)。
- 本剤を無人ヘリコプターで散布する場合は、次の事項に注意してください。
  - ①散布は使用機種の使用基準に従って実施すること。
  - ②専用の粒剤散布装置によって湛水散布すること。
  - ③事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整すること。
  - ④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布すること。
  - ⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意すること。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届く所には置かないでください。★空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。